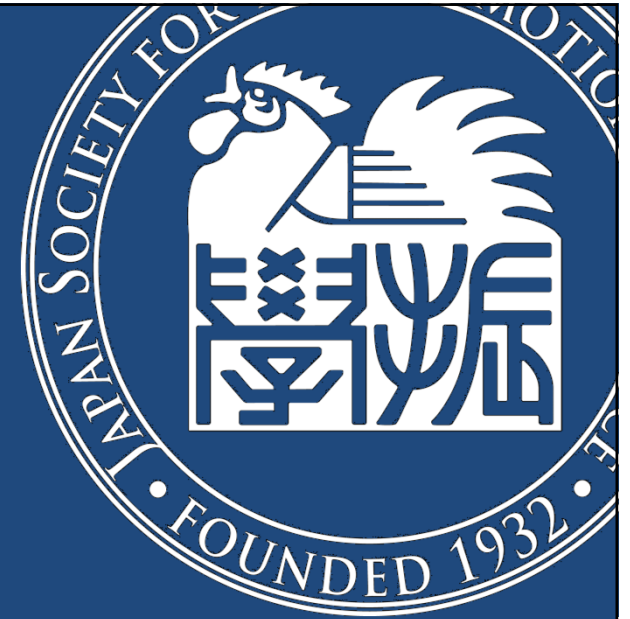




外国人研究者招へい事業 申請方法のご案内

～外国人特別研究員（一般・欧米短期）～

※本動画は、「公募」の申請を対象に作成しています。「推薦」についてはウェブサイトを別途ご確認ください。

一般（推薦）：<https://www.jsps.go.jp/j-fellow/j-ippan/suisenkn.html>

欧米短期（推薦）：<https://www.jsps.go.jp/j-fellow/j-oubei-s/suisenknshort.html>

※採用予定数および支給経費は予算状況により変更される場合があります。

日本学術振興会 国際事業部 人物交流課

令和6（2024）年7月

令和7（2025）年2月更新

【目次】

- (1) プログラムの概要及び選考方法等
- (2) 電子申請手続及び申請書類の提出
- (3) お問い合わせ先

【目次】

(1) プログラムの概要及び選考方法等

(2) 電子申請手続及び申請書類の提出

(3) お問い合わせ先

外国人研究者招へい事業 概要

研究者のキャリアステージ

博士号取得前後

博士号取得後

助教

准教授

教授

外国人特別研究員

サマー・プログラム
夏季2か月（推薦のみ）

欧米短期

1か月以上12か月以内
（推薦・公募）

ASEAN/アフリカ短期
1か月以上12か月以内（推薦のみ）

一般

12か月以上24か月以内
（推薦・公募）

外国人招へい研究者

長期（公募のみ）

共同研究

2か月以上10か月以内

短期（公募のみ）

14日以上60日以内

意見交換・講演

博士号取得後6年以上の場合は、
外国人招へい研究者（長期、短期）をご確認ください。
（募集要項・申請書）

<https://www.jsps.go.jp/j-inv/boshu/boshuyoko.html>



年間採用スケジュール

	採用期間	申請機会	新規採用数 (公募/予定)	申請締切	採用開始時期
一般	12-24 か月	年2回	240名	第1回:8月下旬 第2回:翌年4月下旬	第1回:翌年4月1日-9月30日 第2回:翌年9月1日-11月30日
欧米短期	1-12 か月	年3回	60名	第1回:9月下旬 第2回:翌年1月中旬 第3回:翌年6月上旬	第1回:翌年4月1日-3月31日 第2回:翌年8月1日-3月31日 第3回:翌年12月1日-3月31日

JSPS公式X: https://x.com/jsp_sns

メールマガジン (JSPS Monthly) : <https://www.jsp.go.jp/j-mailmagazine/>



支給経費

(1) 渡航費：往復国際航空券（現物支給）（JSPSの規定による。エコノミークラス。）

(2) 滞在費：一般 月額 362,000 円

欧米短期 月額 362,000円（博士号取得者）

200,000円（博士号取得見込者）

(3) 渡日一時金：定額 200,000円（採用開始前から日本に居住実態がなく、かつ、採用期間が3か月以上の候補者（外国人研究者）のみ）

(4) 海外旅行保険料

(5) その他：一般 特別研究員奨励費に応募可能

欧米短期 調査研究費に申請可能

[注] 採用期間開始日以前から日本国内に滞在する者には、「渡航費」の往路分及び「渡日一時金」は支給しません。

令和5（2023）年度から

欧米短期に採用された者が採用開始後に博士の学位を取得し、学位記を提出した場合、滞在費の翌月以降支給額を増額

月額200,000円 → 月額 362,000円

特別研究員奨励費、調査研究費

特別研究員奨励費（一般）

- ・採用期間中、外国人研究者が受入研究者と共同で行う研究計画の遂行に必要な研究費の助成を受けるため、受入研究者は科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）（特別研究員奨励費）に応募することが可能
- ※「外国人特別研究員申請書」の研究課題（和文）と同一であること
- ※配分は10万円単位で行う予定
- ※応募区分、応募総額等については次ページに記載

調査研究費（欧米短期）

- ・外国人研究者が採用期間中に受入研究者と共同で行う研究のための経費として、受入研究者は調査研究費を申請することが可能
- ・申請額の上限は、外国人研究者の採用月数×70,000 円
- ※採用開始後の申請は不可

特別研究員奨励費（一般）

選択した応募区分に基づき、
申請内容ファイルの研究計画を記入

応募区分	応募総額	
	採用期間	
	24か月	12か月以上24か月未満
A区分	240万円以下	120万円以下
B区分※	240万円超 300万円以下	120万円超 150万円以下

※研究計画上、応募総額がA区分を超える必要がある場合。採用時評価を参考にし、その必要性が認められた場合に限りB区分として配分額が決定される。



特別研究員奨励費 公募情報のウェブページ

https://www.jsps.go.jp/j-grantsinaid/20_tokushourei/download.html

申請者（受入研究者）の申請資格

一般、欧米短期

申請時、採用時及び採用期間において、下記（１）及び（２）を満たす者。

- （１）科学研究費補助金取扱規程（昭和40年文部省告示第110号）第2条に規定される研究機関（※）に所属し、
科学研究費助成事業の応募資格を持ち、外国人研究者の受入を希望する者。
- （２）常勤の研究者であること。ただし、常勤でない研究者であっても、常勤の研究者と同様に、採用期間中継続して、研究環境（研究室・設備・人員）の整備等を含め、本事業を責任を持って遂行できると受入研究機関において判断する場合には、申請可能とする。

（※）科学研究費補助金取扱規程（昭和40年文部省告示第110号）第2条に規定される研究機関

- ① 大学及び大学共同利用機関
- ② 文部科学省の施設等機関のうち学術研究を行うもの
- ③ 高等専門学校
- ④ 文部科学大臣が指定する機関

候補者（招へいする外国人特別研究員）の申請資格

採用年度の4月1日現在において、下記①及び②を満たす者

一般

- ①我が国と国交がある国の国籍を有する者（台湾及びパレスチナの研究者については、これに準じて取り扱う）
- ②我が国における研究開始時点で博士の学位を有し、かつ、**博士の学位取得後6年未満**の者

※過去に外国人特別研究員（一般、定着促進）に採用され、採用期間を開始した者は対象外

※日本の大学で学位を取得した者および日本在住者も対象であるが、日本国籍を持つ者及び日本に永住を許可されている外国人は対象外

※「博士の学位取得後6年未満の者」には、博士の学位を取得後に取得した産前・産後の休暇、育児休業の期間を除くと博士の学位取得後6年未満となる者も含む

欧米短期

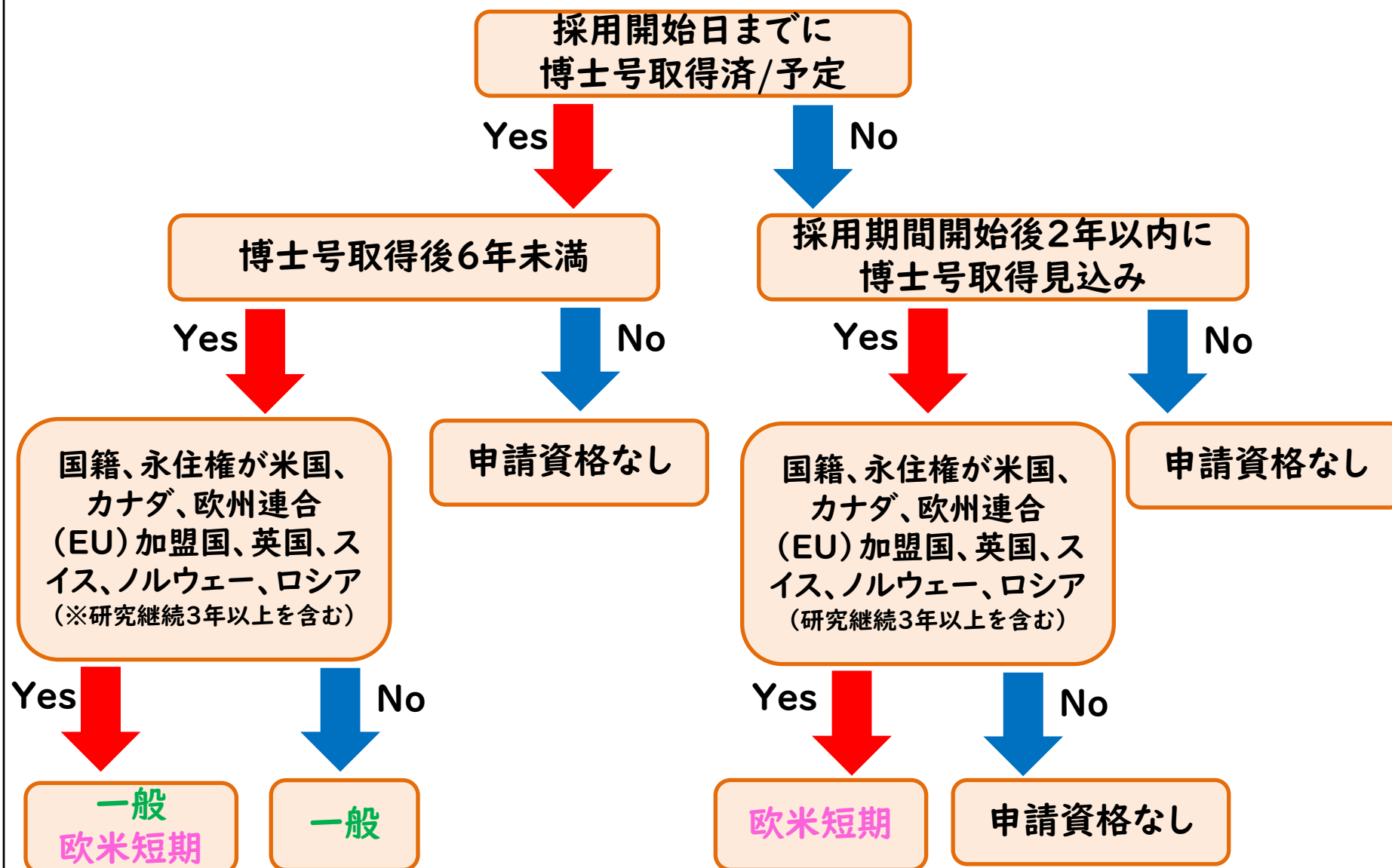
- ①米国、カナダ並びに欧州連合（EU）加盟国、英国、スイス、ノルウェー及びロシア国の国籍又は永住権を有する者又は上記の国の大学又は研究機関において、3年以上研究を継続中の者で、優れた研究業績を有する者（我が国と国交を有する国に限る。台湾及びパレスチナの者についてはこれに準じて扱う）
- ②我が国における研究開始時点で、外国の大学院で取得した博士の学位を有し、かつ、**博士の学位取得後6年未満**の者又は国外の大学院博士課程（博士後期課程相当）に在籍し、我が国における研究開始時点から **2年以内に博士の学位取得見込み**の者

※過去に外国人特別研究員（一般、欧米短期、ASEAN/アフリカ短期、定着促進）に採用され、採用期間を開始した者は対象外

※在留カードを有する等、我が国に住所を有する者、日本国籍を有する者は対象外

※「3年以上研究を継続中の者」、「博士の学位取得後6年未満の者」には、産前・産後の休暇、育児休業の期間を除くと3年以上研究を継続中、博士の学位取得後6年未満となるものも含む

申請資格イメージ図（外特公募のみ）



申請資格の注意事項

申請者（受入研究者）

- ・各回の募集で、1人の申請者（受入研究者）につき、3件まで申請可能
例）一般で3件、欧米短期で3件応募→可能

候補者（外国人研究者）

- ・「JSPSの申請受付期限」が同一の募集において、1人の候補者（外国人研究者）が複数の申請者（受入研究者）を通じて申請することはできない
- ・「JSPSの申請受付期限」が同一の募集において、1人の候補者（外国人研究者）が申請できるのは外国人特別研究員（一般）、外国人招へい研究者（長期）、外国人招へい研究者（短期）のうち1件のみ
- ・一般、欧米短期等外国人特別研究員のプログラムに同時に申請することは可能
ただし、外国人特別研究員のプログラムに複数採用された場合、または他機関等のフェローシップに同時に採用された場合には、いずれか一つを選択すること
※フェローシップの重複受給はできない
（期間が重複していなければ、欧米短期→一般の順でフェローシップを行うことは可能）

個別の申請資格や要件の確認は、募集要項等に基づき受入研究機関が行ってください。
その上で申請資格や要件の解釈に疑問がある場合はJSPSへご連絡ください。

FAQ (申請資格・要件に関すること)

Q. 申請時に学位取得見込みであるが、申請は可能か。

A. 可能です。

一般 : 採用期間開始日までに学位記又は学位取得証明書の提出が必要

欧米短期 : 採用期間開始日までに学位記又は学位取得見込証明書(2年以内に博士の学位取得見込者であること)の提出が必要

※欧米短期では、学位取得の有無で滞在費が異なります。

Q. 博士号を複数取得しているが、外国人特別研究員の要件にある取得後何年というのはどの取得日を起算点とするのか。

A. 最後に取得した博士の学位の取得日を起算点とします。(一般・欧米短期共通)

Q. 日本の大学で博士の学位を取得した場合、申請することは可能か。

A. **一般** : 可能です。

欧米短期 : 申請できません。外国の大学院で博士の学位を取得見込み又は取得済みの方が対象です。

Q. 博士課程で所属していた研究機関、指導教員が申請することは可能か。

A. 可能です。(一般)

選考方法(一般)

選考は、JSPSの国際事業委員会において、書面審査及び合議審査により行います。書面審査は、申請者の書面審査区分に応じて6人の書面審査員により行います。

【書面審査】

申請者の書面審査区分に応じ、6人の書面審査員により行います。

+

【合議審査】

(審査方針)

- i) 我が国及び諸外国における学術の進展に資するものであること。
- ii) 招へいによって外国人特別研究員候補者(以下、候補者という)と申請者双方の研究の推進が期待できること。
- iii) 申請者と候補者の事前交渉等が密接に行われ、研究計画が具体的であること。
- iv) 候補者の受入機関における受入体制が十分に整っていること。
- v) 採用者の国籍、受入機関、専門分野等は、なるべくかたよらないこと。とりわけ多様な国からの来日に配慮すること。
- vi) 書面審査の評点ばかりでなく、理由、意見等にも十分配慮すること。
- vii) 審査の判定は、採用・不採用の2種とすること。



審査の詳細については、JSPS「外国人特別研究員」ウェブサイト上の「選考方法」の項目を確認してください。

外国人特別研究員ウェブサイト選考方法URL: <https://www.jsps.go.jp/j-fellow/j-ippan/senko.html>

選考方法（欧米短期）

選考は、JSPSの国際事業委員会において、書面審査及び合議審査により行います。書面審査は、申請者の書面審査区分に応じて3人の書面審査員により行います。

【書面審査】

申請者の書面審査区分に応じ、3人の書面審査員により行います。

+

【合議審査】

（審査方針）

- i) この招へいが実施され、欧米諸国との交流が一層発展することが期待できること。
- ii) 招へいによって候補者と申請者双方の研究の推進が期待できること。
- iii) 申請者と候補者の事前交渉等が密接に行われ、研究計画が具体的であること。
- iv) 候補者の受入機関における受入体制が十分に整っていること。
- v) 博士号取得前の者については、研究の発展性も考慮に入れること。
- vi) 採用者の受入機関、専門分野等は、なるべくかたよらないこと。
- vii) 書面審査の評点ばかりでなく、理由、意見等にも十分配慮すること。
- viii) 審査の判定は、採用・不採用の2種とすること。



審査の詳細については、JSPS「外国人招へい研究者」ウェブサイト上の「選考方法」の項目を確認してください。

外国人特別研究員ウェブサイト選考方法URL: <https://www.jsps.go.jp/j-fellow/j-oubei-s/senko.html>

【目次】

(1) プログラムの概要及び選考方法等

(2) 電子申請手続及び申請書類の提出

(3) お問い合わせ先

申請手続

一般、欧米短期

様式名	主たる作成者	ページ数	内容	作成方法
様式1	申請者 (受入研究者)	4ページ	氏名、所属機関、研究課題、採用期間、研究の概要と意義、受入体制等	電子申請システムに入力
FORM2	候補者 (外国人研究者)	7ページ	略歴、研究成果、研究計画、フェローシップ終了後の学術的目標及びキャリアの展望等	様式 (Word) をダウンロードし、電子申請システムにアップロード
推薦書	候補者の推薦者	1ページ	推薦書	電子申請システムにアップロード

【電子申請システム】

https://www-shinsei.jsps.go.jp/topkokusai/top_kokusai.html



【様式のダウンロード】

https://www.jsps.go.jp/j-fellow/j-fellow_14/31_boshuyoko.html



申請手続きの概要

機関手続き

- ①電子申請システムのID・パスワードを取得する。(※初回のみ)
- ②電子申請システムで「申請者(受入研究者)情報」を登録する。(※初回のみ)
- ③電子申請システム上で、申請者(受入研究者)が提出(送信)した「申請書の内容」を確認する。
- ④機関の長より、申請及び申請に当たって承諾すべきこと(募集要項参照)の承認を得て、「候補者リスト」を確定し、「申請書」をJSPSの申請受付期限までに提出(送信)する。



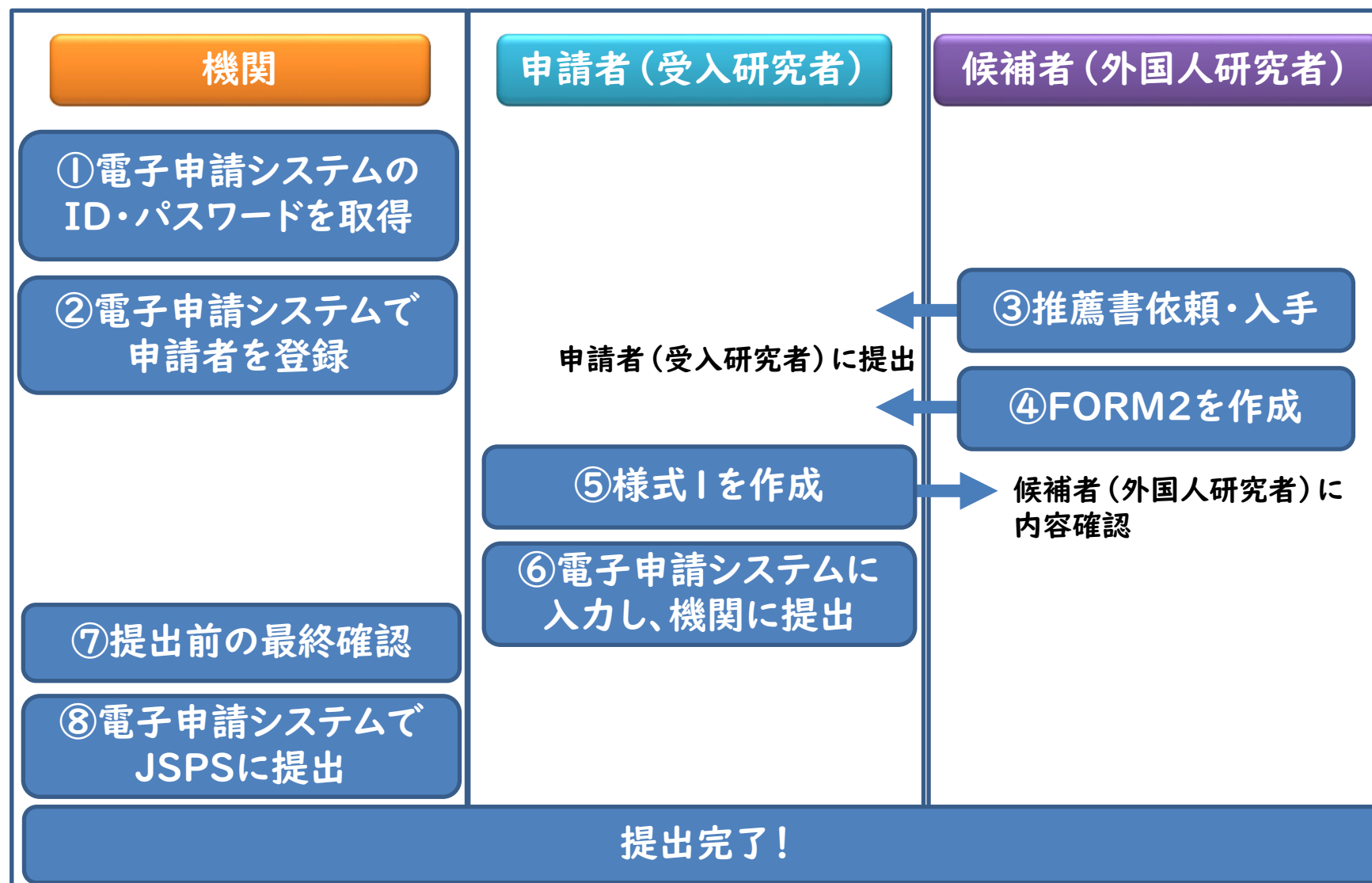
申請者(受入研究者)手続き

- ①様式Iを候補者(外国人研究者)と作成する。様式Iの入力準備にあたって、フォーマットのワードファイルをダウンロードいただけます。
https://www.jsps.go.jp/j-fellow/j-fellow_14/31_boshuyoko.html
- ②様式Iを電子申請システム上で入力し、申請者(受入研究者)から受領したFORM2及び推薦書をアップロードし、機関で設定した期限までに「申請書」を機関に提出(送信)する。

候補者(外国人研究者)手続き

- ①推薦書を依頼・入手し、申請者(受入研究者)に提出する。
- ②FORM2を作成し、申請者(受入研究者)に提出する。

申請書作成手順例



申請手続き①

電子申請システムのID・パスワードを取得(※初回のみ)

1. 電子申請システム利用申請書取得

- ◆電子申請システムを利用するには、ID・パスワードが必要になる。
- ◆ホームページから「電子申請システム利用申請書」をダウンロード。

https://www.shinsei.jsps.go.jp/topkokusai/syozoku_top.html



機関

2. 「電子申請システム利用申請書」記入

- ◆「申請書」に必要事項を記入し、PDFにしてJSPSへメール(i-sys@ml.jsps.go.jp) する。

3. ID・パスワード取得

- ◆JSPSから「通知書のダウンロード用HTML」がメール(i-sys@ml.jsps.go.jp)で届く。
- ◆メールの「添付ファイル(HTML)」をダブルクリックすると、「メールアドレス入力画面」が表示される。
- ◆受信した「メールアドレス」を入力し、次へをクリック。
- ◆画面をそのままにすると発行される「ワンタイムパスワード」を、ブラウザに入力し、次へをクリック。
- ◆電子申請システムの「ID・パスワード」が取得可能となる。

以上で、電子申請システムを利用するための手続きはすべて完了！

申請手続き②

電子申請システム申請者の登録(※初回のみ)

機関

1. 機関担当者が申請者(受入研究者)を登録

- ◆申請者(受入研究者)が電子申請システムを利用して申請するためには、機関担当者が、まずは申請者(受入研究者)を登録する。
(既に登録済の場合は、再度登録は不要。)

2. 所属機関担当者向けメニュー画面

- ◆「所属機関担当者向けメニュー」画面で[申請書提出]をクリック
→[外国人特別研究員]から「候補者リスト」を確定し、
「候補者リスト」および「操作証明書」の出力を行う事業をクリックする。

申請手続き②

電子申請システム申請者の登録(※初回のみ)

機関

1. 機関担当者が申請者(受入研究者)を登録

- ◆申請者(受入研究者)が電子申請システムを利用して申請するためには、機関担当者が、まずは申請者(受入研究者)を登録する。
(既に登録済の場合は、再度登録は不要。)

2. 所属機関担当者向けメニュー画面

1. 「所属機関担当者向けメニュー」画面で[申請書管理]をクリック
2. 「申請者管理メニュー」画面で「申請者登録」をクリック
3. 「申請者登録」画面に登録する申請者の情報を入力し、OKをクリック
4. 「申請者登録確認」画面で内容を確認し、OKをクリック
5. 「申請者登録通知書」画面が表示されたら登録完了
6. 「申請者登録通知書」画面の申請者のパスワードを申請者に通知

申請手続き③、④ 推薦書依頼・入手&FORM2の作成

申請手続き③ 推薦書依頼・入手

候補者(外国人研究者)

- ◆ 1ページ(日英どちらでも可)
- ◆ 作成者:推薦者 ※申請者(受入研究者)は作成不可
- ◆ サンプルは以下を参照

https://www.jsps.go.jp/j-fellow/j-fellow_14/31_boshuyoko.html



申請手続き④ FORM2の作成

- ◆ 7ページ(日英どちらでも可)
- ◆ 主たる作成者:候補者(外国人研究者)
毎年HPより該当年度の申請書をダウンロード

※機関内の提出期限を事前に確認すること

※FORM2の国籍記入について、二重国籍者は来日時に使用するパスポートの国籍を記入

申請書記入のFAQ

Q. 申請書を作成する言語等に指定はあるか。

A. 指定がある箇所を除き、**日本語又は英語**で作成してください。ただし、固有名詞や専門用語はこの限りではありませんが、必要に応じて日本語又は英語による補足を行ってください。

Q. 申請書 (Word 様式) の改変は認められるか。

A. **認められません**。JSPSが配付する様式の余白やページ数の変更、項目の順番やページの変更は行わないでください。詳細は申請書作成・記入要領もご確認ください。なお、操作環境に起因する申請書の不具合の修正は可能です。

Q. 申請書 (Word 様式) の各項目のフォントサイズや文字数に指定はあるか。

A. 指定はありません。ただし、審査員が**読みやすいフォントサイズ** (12 ポイント以上を推奨)、字間、行間等を心がけてください。詳細は申請書作成・記入要領もご確認ください。

申請手続き⑤ 様式Iを作成

- ◆ 4ページ(日英どちらでも可)
- ◆ 主たる作成者:申請者(受入研究者)

申請者(受入研究者)



[https://www.jsps.go.jp/j-fellow/j-fellow I4/3I boshuyoko.html](https://www.jsps.go.jp/j-fellow/j-fellow%20I4/3I_boshuyoko.html)

↑様式Iの入力準備にあたって、フォーマットのワードファイルもダウンロードいただけます。

これは申請書作成の一助として本会の電子申請画面の一部を抜き出したもので申請書ではありません。←
This is an excerpt from the Electronic Application System intended to make your application process easier. ←

令和 XX 年度(20XX 年度) 独立行政法人日本学術振興会←
第X回 外国人特別研究員(一般・欧米短期) 申請書←
準備用フォーマット←

FY20XX Japan Society for the Promotion of Science←

XXth Recruitment of JSPS Postdoctoral Fellowship for Research in Japan (Standard/Short-term) ←

Format for Preparation of Electronic Application System ←

小区分コード Basic Section Code←	5桁のコードを入力後、「確定」ボタンをクリック← Enter 5 digit code and click "Enter"←
小区分 Basic Section←	←
書面審査区分 Document Review Section←	←
合議審査区分 Panel Review Section←	←

申請手続き⑥ 電子申請システムに入力

申請者（受入研究者）

 独立行政法人日本学術振興会
電子申請システム

ヘルプ ログアウト

申請者向けメニュー > 申請書作成（申請書（様式1）入力 > 申請書確認 > 申請書確認完了）

申請書（様式1）入力 Japanese > English

国際交流
テスト環境

画面を表示してから0分経過

最終保存日時：入力内容は保存されていません。

<注意事項>

- 申請書は様式1（Form1）、Form2（Word又はPDF）および推薦書から構成されます。
- Form2の様式をダウンロードしていない方は「受付中公署一覧」へ戻り、ダウンロードしてください。
- 申請書情報入力欄に表示されている個人情報が誤りがないかを確認し、誤りの場合は所属機関担当者に連絡して修正してから入力してください。
- *のついた項目は必須項目です。
- 5桁の「小区分コード」を入力して[確定]ボタンを押すと、「書面審査区分」欄と「合議審査区分」欄に対応する区分名が自動的に表示される場合と、されない場合があります。「書面審査区分」欄と「合議審査区分」欄が自動表示されず、選択可能になっている場合はプルダウンの選択肢から審査を希望する審査区分を選択してください。
- 「書面審査区分」欄には50文字まで表示され、51文字目以降は省略され「…」が表示されます。その場合は必ず本申請書入力後、確認用に生成される申請書（PDFファイル）上で「書面審査区分」欄が正しく表示されているかを確認してください。
- 最大行数が表示されている入力欄について、「入力行数」の値が「最大行数」以下になるように調整してください。なお、「入力文字数（半角含む）」と入力行数はPDFに変換した際に入力した内容が規定の枠内に収まるための目安です。そのため「入力文字数（半角含む）」と「入力行数」の値が上記の値以下でもエラーとなる場合がございます。
- また、改行は表示上0文字ですが実際は2バイト換算となります。例として「最大1000バイト（全角500文字）入力可能な項目で、960バイト（全角480文字）入力の上、行数が21以上の場合」はエラーとなります。エラーメッセージが表示された際は改行を減らす等の調整をお願いいたします。
- 入力中に、一定時間、ボタン操作をせずにおくと、セッションタイムアウトにより、入力した情報が保存されない場合があります。随時[一時保存]ボタンをクリックして情報を保存してください。もし、セッションタイムアウトのエラーメッセージが出た場合は、「電子申請のご案内」ページの「よくあるご質問」を参照してください。

次へ進む

一時保存

保存せずに戻る

2025年度 独立行政法人日本学術振興会
第1回 外国人特別研究員（一般） 申請書

小区分コード 5桁のコードを入力後、 「確定」ボタンをクリック	* 確定 一覧
小区分	
書面審査区分	*
合議審査区分	*

【申請者（受入研究者）】

1. 氏名	(漢字等) (姓) 田中 (名) 太郎
	(ローマ字) (姓) TANAKA (名) Taro
	(フリガナ) (姓)
	(名)

申請手続き⑥ 電子申請システムに入力

確認ポイント

申請者（受入研究者）

【申請者（受入研究者）情報】

正確な情報をご記入ください。

氏名	(漢字等) (姓) 田中 (名) 太郎	
	(ローマ字) (姓) TANAKA (名) Taro	
	* (フリガナ) (姓) タナカ (名) タロウ	
所属研究機関	(コード) 11301	(和文) 学振大学
	(英文) Gakushin University	
部局	・所属が研究科の場合は、「大学院〇〇研究科」のように正式名称を入力してください。	
	(和文)	
	(英文) *	
部局種別	学部	
職	(和文) * ▼ 「その他」の場合:	
	(英文) *	敬称 (英文) * Dr. ▼
研究者番号	*	
連絡先	〒* (例: 123-4567)	
	(住所) *	
※申請書PDFファイルには表示されません。		
電話番号: * FAX番号:		
Email: *		

申請手続き⑥ 電子申請システムに入力

確認ポイント

申請者(受入研究者)

【候補者(外国人研究者)】

氏名	・ FAMILY Name、First Nameのどちらかは必ず入力してください。 (英文) (FAMILY) (First) (Middle)		
国籍	・ 複数の国籍を持つ場合は、本事業のために日本に入国する際に使用するパスポートの国籍を選択してください。 国及び地域コード* 一覧 (国及び地域名) アイスランド		
生年月日	* (西暦) 年 月 日生		
性別	※申請書PDFファイルには表示されません。 男 ☐ 女 ☐		

ウムラウト(例:ä、ö、ü)は
使用できません

二重国籍者は、【日本入国時に使用するパスポートの国籍】を選択してください。

姓名(First/Last Name
順番)、国籍、生年月日が
【日本入国時パスポート】の
ものとしてください。

注意

基本情報は「採用通知」、
「経費負担証明書」に印字記載
されます!!
提出前に必ず確認!!

申請手続き⑥ 電子申請システムに入力

確認ポイント

申請者（受入研究者）

【候補者（外国人研究者）】

所属研究機関	(和文)		
	(英文) *		
部局	(和文) *		
	(英文) *		
職	・相当職欄は、日本の大学の職位に置き換えた場合に相当するレベルを選択してください。		
	(和文) *		
	(相当職等) *		▼
	(英文) *		敬称 (英文) *
所属研究機関所在国	国及び地域名コード		(姓)

※所属研究機関、部局、職は日英必須入力です
(定められた日本語名がない場合は、
申請者（受入研究者）が英訳してください。)

※所属研究機関、部局、職名がない場合はN/Aと
入力してください。

申請手続き⑥ 電子申請システムに入力

確認ポイント

申請者（受入研究者）

【候補者（外国人研究者）】

連絡先	・日本国内、海外（中国、韓国を含む。）を問わず全ての連絡先は、必ず半角英数字で入力してください（ウムラウト等は用いないでください。）。 ・住所欄には、通りの名称、番地、所属研究機関名・教室名、アパート名、部屋番号等々、省略せずに全て入力してください（国名を記載する必要はありません。）。		
	* ☐ 所属研究機関 ☐ 自宅 (所属研究機関を選択した場合は、住所欄に所属研究機関名、部局名も入力してください。)		
	〒*	国及び地域名コード*	一覧
	(「ZZZ」の場合の国及び地域名：)		
	(住所)*		
	国番号	市外局番	相手先番号
	電話番号1：*	+ -	
	電話番号2：*	+ -	
	Email1：*		
	Email2：		

※申請書PDFファイルには表示されません。

郵便番号がない国は
「99999」と入力してください。

申請手続き⑥ 機関に提出

申請者（受入研究者）

★「様式2」、「推薦書」はPDFで添付して提出してください。

様式2（Form2）ファイル選択

記入した様式2（Form2）ファイル（PDF又はWord）を選択してください。

ファイルの選択

ファイルが選択されていません

- 様式2（Form2）ファイルを修正する場合は、修正済みの様式2（Form2）ファイルを選択しなおすと、前のファイルが削除されて上書きされます。
- 様式2（Form2）ファイルに修正がない場合、様式2（Form2）ファイル選択欄は空欄のまま構いません。
- 様式2（Form2）ファイルについてはフォントを埋め込んだPDFファイル（本会が提供する様式を基に作成したものに限り）をアップロードしてください。
※フォントを埋め込んだPDFファイルの作成方法については、[こちら](#)を参照してください。
※作成方法は申請者向け操作手引（詳細版）にも記載しています。
- PDFファイルの代わりにWordファイルを選択することも可能ですが、使用するフォントや環境によって正しく表示されない場合があるため、PDFファイルのアップロードを推奨します。

推薦書ファイル選択

記入した推薦書ファイル（PDF又はWord）を選択してください。

ファイルの選択

ファイルが選択されていません

- 推薦書ファイルを修正する場合は、修正済みの推薦書ファイルを選択しなおすと、前のファイルが削除されて上書きされます。
- 推薦書ファイルに修正がない場合、推薦書ファイル選択欄は空欄のまま構いません。
- フォントを埋め込んだPDFファイルをアップロードしてください。
※フォントを埋め込んだPDFファイルの作成方法については、[こちら](#)を参照してください。
※作成方法は申請者向け操作手引（詳細版）にも記載しています。
- PDFファイルの代わりにWordファイルを選択することも可能ですが、使用するフォントや環境によって正しく表示されない場合があるため、PDFファイルのアップロードを推奨します。

次へ進む

一時保存

保存せずに戻る

ログアウト

申請手続き⑦ 提出前の最終確認

機関

以下のチェックリストにて提出（送信）前に申請書を確認してください。

- ◆ 著しい不備のある申請は受理しません。なお、原則として不備等の内容確認等の連絡は致しません。
- ◆ 不備も含めて審査が行われるとご理解ください。
- ◆ 証明書等に印字されますので、様式IとFORM2に相違ないかよくご確認ください。
- ◆ 候補者氏名等のスペルに相違がある場合でも、一切の確認・連絡を致しません。
- ◆ 受入研究機関の責任において、確実な情報であることを確認し、申請してください。

【チェックリスト】 不備が無いかな必ずチェックし、提出してください！

- ☐ 申請者（受入研究者）および候補者（外国人研究者）が本募集要項記載の申請資格・要件を満たしている。
- ☐ 「様式I」、「FORM2」の候補者（外国人研究者）氏名および国籍、生年月日はパスポートの表記と同様に正しく記載されている。
- ☐ 「様式I」、「FORM2」、「推薦書」は該当する年度の指定様式を使用している。

申請手続き⑧ 電子申請システムでJSPSに提出

機関

- ◆ 候補者リストを登録し、「候補者リスト確定」画面のOKをクリックするとJSPSに提出されます。
- ◆ 1つの事業につき、1度しか提出できませんので、すべての申請がそろっていることを確認して提出してください。
- ◆ 申請が完了しましたら、電子申請システムよりメールが来ますので、ご確認ください。

募集要項他

◆募集要項・申請書・審査区分表



一般 <https://www.jsps.go.jp/j-fellow/j-ippan/boshu.html>

欧米短期 <https://www.jsps.go.jp/j-fellow/j-oubei-s/boshu.html>

※記入要領及びFAQを参照の上、申請書を作成してください。



◆記入要領

https://www.jsps.go.jp/j-fellow/j-fellow_14/31_boshuyoko.html



◆FAQ

<https://www.jsps.go.jp/j-fellow/faq.html>



◆選考方法

一般 <https://www.jsps.go.jp/j-fellow/j-ippan/senko.html>

欧米短期 <https://www.jsps.go.jp/j-fellow/j-oubei-s/senko.html>



電子申請システム

機関

◆ログイン

<https://www-shozoku.jsps.go.jp/jsps2/shozoku/index.html>



◆電子申請システムの操作手引

<https://www-shinsei.jsps.go.jp/topkokusai/kdownload.html#tebiki>



申請者（受入研究者）

◆ログイン

<https://www-kokusai.jsps.go.jp/jsps1/shinsei/index.html>



◆電子申請システムの操作手引

<https://www-shinsei.jsps.go.jp/topkokusai/kdownload.html#tebiki>



採用結果の確認

◆JSPSホームページ

<https://www.jsps.go.jp/j-fellow/saiyo/index.html>



◆電子申請システム

機関

<https://www-shozoku.jsps.go.jp/jsps2/shozoku/index.html>



申請者(受入研究者)

<https://www-kokusai.jsps.go.jp/jsps1/shinsei/index.html>



採用となった場合、機関宛に採用関係書類一式を送付します。

【目次】

- (1) プログラムの概要及び選考方法等
- (2) 電子申請手続及び申請書類の提出
- (3) お問い合わせ先**

お問い合わせ先

独立行政法人日本学術振興会
国際事業部 人物交流課 外国人特別研究員係

【一般(公募・採用)】

Tel: (03)3263-3444 Mail: postdoc-standard@jsps.go.jp

【欧米短期(公募・採用)】

Tel: (03)3263-3444 Mail: postdoc-short@jsps.go.jp

【一般、欧米短期(採用中、採用後の手続等)】

Tel: (03)3263-3810 Mail: gaitoku@jsps.go.jp

※受付時間: 月曜日～金曜日(祝日を除く。)の9:30～12:00及び13:00～17:00
(年末年始(12/29～1/3)、創立記念日(9/21)は休日とさせていただきます。)

【国際交流事業電子申請システムの利用に関すること】

コールセンター(平日 9:30～17:30、日本語のみ)

TEL: 0120-556-739(フリーダイヤル)

受付時間: 月曜日～金曜日(祝日を除く。)9:30～17:30(日本時間)

JSPS学術国際交流事業の説明について

二国間交流事業及び研究拠点形成事業について、事業説明動画を公開しています。

<https://www.youtube.com/watch?v=50xLqbdbteA>



このほか、JSPS学術国際交流事業の事業説明会を機関のご要望等に応じて開催させていただきます。対面、オンラインいずれも対応可能です。

事業説明会のご要望、お問合せ等はこちらにご連絡ください。
(開催希望時期の1か月前までにご連絡をお願いいたします。)

intlcoop@jsps.go.jp

(注) メールを送る際は「*」を「@」に置き換えてください。

ご視聴いただき、ありがとうございました。